

平成23年度決算のあらまし

# まちの 家計簿

決算編

精華町の財政状況公表資料



## もくじ

|                           |       |
|---------------------------|-------|
| まちの決算状況（一般会計） .....       | 1～2   |
| 町民一人あたりでみる決算 .....        | 3～4   |
| まちの決算状況（特別会計） .....       | 5～6   |
| 平成23年度に実施した主なまちのしごと ..... | 7～10  |
| まちの基金（貯金）と債務（借金） .....    | 11～12 |
| 新地方公会計制度に基づく財務諸表を公開 ..... | 13～18 |
| 各種指標による財政状況の分析 .....      | 19～20 |
| 行政評価の取り組み .....           | 21～22 |

ふるさとは ここ精華町と誇れるまち

## まちの決算状況(一般会計)

### 平成23年度決算状況をお知らせします!!

|                      |             |
|----------------------|-------------|
| 一般会計                 |             |
| 歳入                   | 132億6,078万円 |
| 歳出                   | 131億3,129万円 |
| 差引                   | 1億2,949万円   |
| うち翌年度への繰越財源 7,507 万円 |             |
| → 実質収支 5,442万円       |             |
| 実質単年度収支 △3億7,424万円   |             |

### 精華町のサイフが厳しくなっています



平成23年度の一般会計決算は、歳入が132億6,078万円、歳出が131億3,129万円となり、これに平成24年度へ繰り越した事業に必要な財源7,507万円を除いた実質収支額は5,442万円の黒字となりました。

しかし、この黒字の中には、基金の取り崩しによる歳入不足補てん分が約3億6千万円含まれており、実質単年度収支額では3億7,424万円の赤字となります。

依然として実質的な赤字補てんを基金に依存せざるを得ない状況であり、今後も現状の行政サービス水準の確保と懸案課題の事業推進のために、行財政改革の継続に努め、選択と集中型への転換を強化する取り組みが重要です。

#### 豆知識



#### 「実質収支」と「実質単年度収支」って何だろう??

「実質収支」とは…何らかの事情で未完成のため翌年度に繰り越すべき工事代金など、翌年度以後に支出する必要がある金額分を除いて、当年度の歳入から歳出を引いた差額のことです。

例えば、1 か月の家計でいえば、来月払いのクレジットの引き落とし予定額を除いた差額のことです。

「実質単年度収支」とは…歳入、歳出には基金への積立てや取り崩し、地方債の繰上償還が含まれているので、そういった収支を調整する要素を除いた差額のことです。

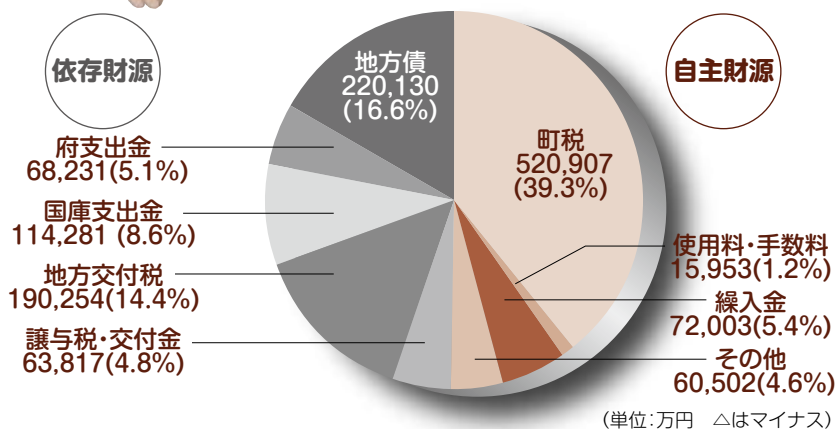
例えば、1 か月の家計でいえば、定期貯金の積立てや解約、ローンの繰上償還といった資産の増減による収支は除き、単純に給料と生活費のバランスがとれているかどうかを見るための差額のことです。

## 歳入編



精華町に入ってきたお金の内訳を見てみよう♪

### 一般会計歳入内訳 (単位：万円)



|      | 【歳入】    | ①決算額      | ②当初予算額    | 差引(①-②)  | 対予算額   |
|------|---------|-----------|-----------|----------|--------|
| 自主財源 | 町税      | 520,907   | 505,963   | 14,944   | 103.0% |
|      | 使用料・手数料 | 15,953    | 16,298    | △ 345    | 97.9%  |
|      | 繰入金     | 72,003    | 86,691    | △ 14,688 | 83.1%  |
|      | その他     | 60,502    | 46,405    | 14,097   | 180.9% |
| 依存財源 | 譲与税・交付金 | 63,817    | 65,338    | △ 1,521  | 97.7%  |
|      | 地方交付税   | 190,254   | 191,236   | △ 982    | 99.5%  |
|      | 国庫支出金   | 114,281   | 125,812   | △ 11,531 | 90.8%  |
|      | 府支出金    | 68,231    | 63,427    | 4,804    | 107.6% |
|      | 地方債     | 220,130   | 220,830   | △ 700    | 99.7%  |
|      | 合 計     | 1,326,078 | 1,322,000 | 4,078    | 100.3% |

◇町税が当初予算と比較すると、約1億4,900万円の増、対予算額比103%となっています。増収の内訳としては、住民税個人分、住民税法人分、固定資産税分があります。法人分の増収については、事業所の業績によるものです。

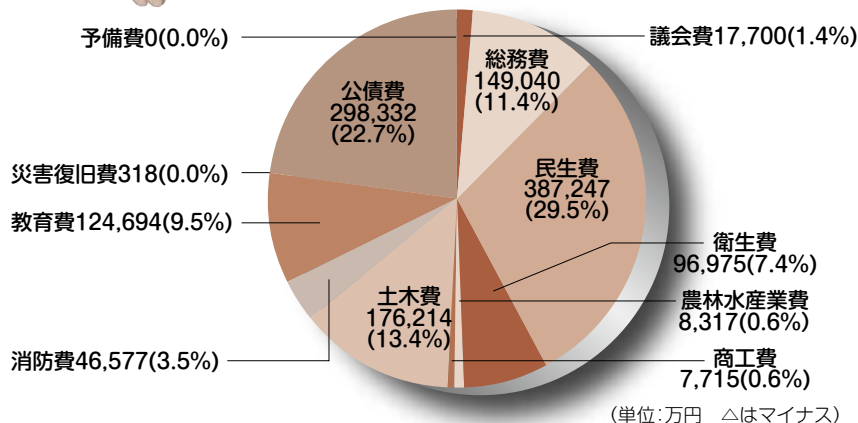
◇その他収入が当初予算と比較すると、約1億4,100万円の増、対予算額比181%となっています。大きな要因としては、寄付金と繰越金において、当初予算編成時には状況が不確定であったので、決算において寄付金が約5,800万円の増加、繰越金が約4,700万円増加したことにより、対予算額比が大きくなっています。

## 歳出編



どんな目的に予算は使われたのかな？

### 一般会計歳出内訳 (単位：万円)



|  | 【歳出】   | ①決算額      | ②当初予算額    | 差引(①-②) | 対予算額    |
|--|--------|-----------|-----------|---------|---------|
|  | 議会費    | 17,700    | 17,967    | △ 267   | 98.5%   |
|  | 総務費    | 149,040   | 123,570   | 25,470  | 120.6%  |
|  | 民生費    | 387,247   | 391,929   | △ 4,682 | 98.8%   |
|  | 衛生費    | 96,975    | 99,857    | △ 2,882 | 97.1%   |
|  | 農林水産業費 | 8,317     | 8,303     | 14      | 100.2%  |
|  | 商工費    | 7,715     | 8,450     | △ 735   | 91.3%   |
|  | 土木費    | 176,214   | 182,992   | △ 6,778 | 96.3%   |
|  | 消防費    | 46,577    | 55,949    | △ 9,372 | 83.2%   |
|  | 教育費    | 124,694   | 129,233   | △ 4,539 | 96.5%   |
|  | 災害復旧費  | 318       | 30        | 288     | 1060.0% |
|  | 公債費    | 298,332   | 301,720   | △ 3,388 | 98.9%   |
|  | 予備費    | 0         | 2,000     | △ 2,000 | 皆減      |
|  | 合 計    | 1,313,129 | 1,322,000 | △ 8,871 | 99.3%   |

◇総務費が当初予算と比較すると、約2億5,500万円の増、対予算額比121%となっています。大きな要因としては、特定目的基金管理費で決算額が約3億760万円増加しています。これは、新たに創設した消防庁舎建設基金などを含む、各種基金への積立金によるものとなっています。

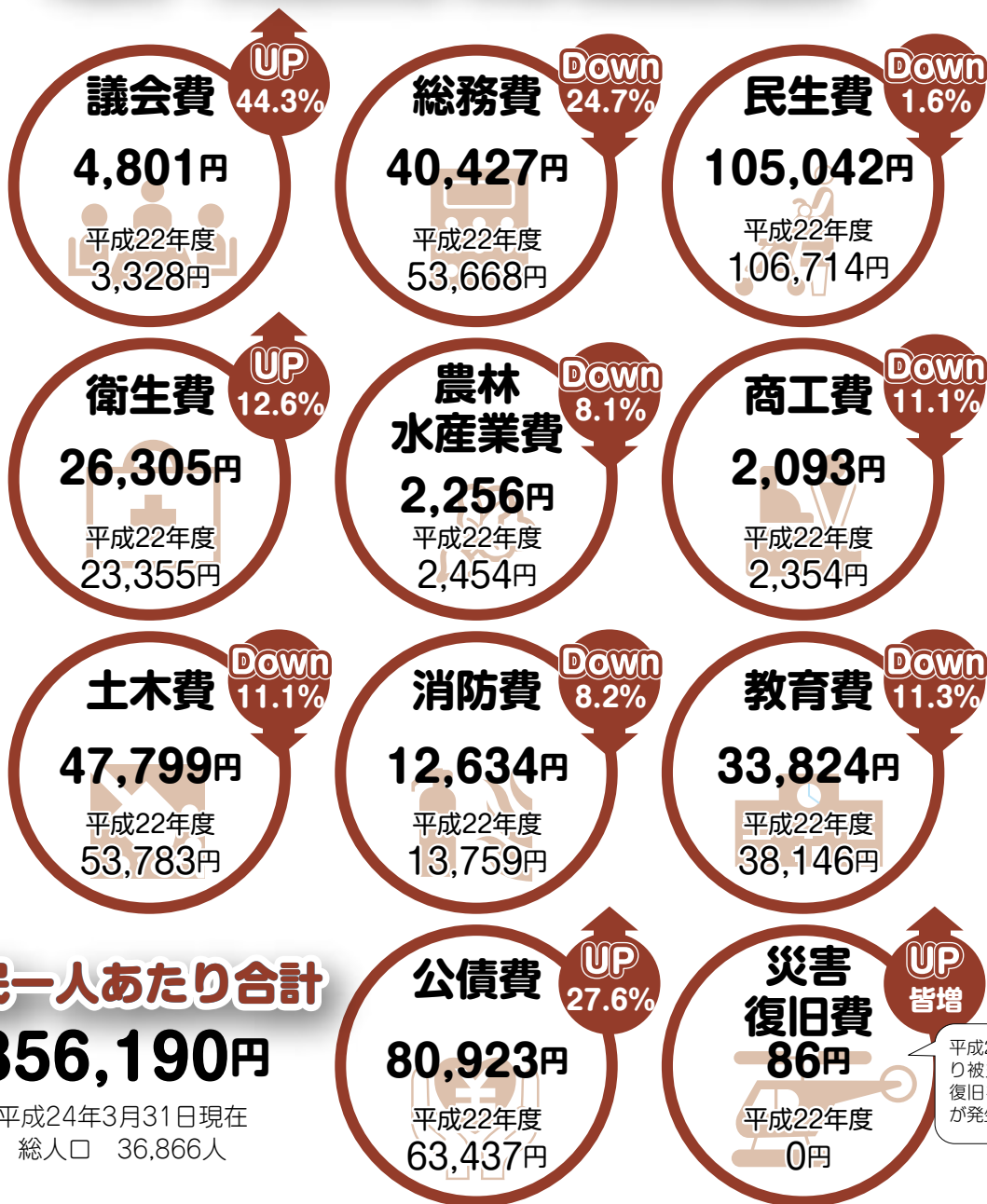
◇消防費が当初予算と比較すると、約4400万円の減、対予算額比83%となっています。これは23年度から24年度へ繰越された事業があったためです。



# 町民一人あたりでみる決算

## 町民一人あたりでみる支出状況

町民一人あたりでみる決算



FUJI XEROX

富士ゼロックスシステムサービスは  
IT化する自治体様を強力サポート。  
さらなる住民サービス向上を目指します。

富士ゼロックスシステムサービス株式会社  
営業本部 公共システム営業事業部 関西支店  
TEL 06-6225-0390 9:00-17:30

平田内科医院

◆消化器科◆循環器科◆一般内科  
平田真人・平田理佳

| 診察時間             | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------------------|---|---|---|---|---|---|
| 午前<br>9:00~12:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 午後<br>5:00~7:00  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

日・祝日休診  
駐車15台可

光台近隣センター南 Phone:0774 95-3400

JA京都やましろ 精華町支店

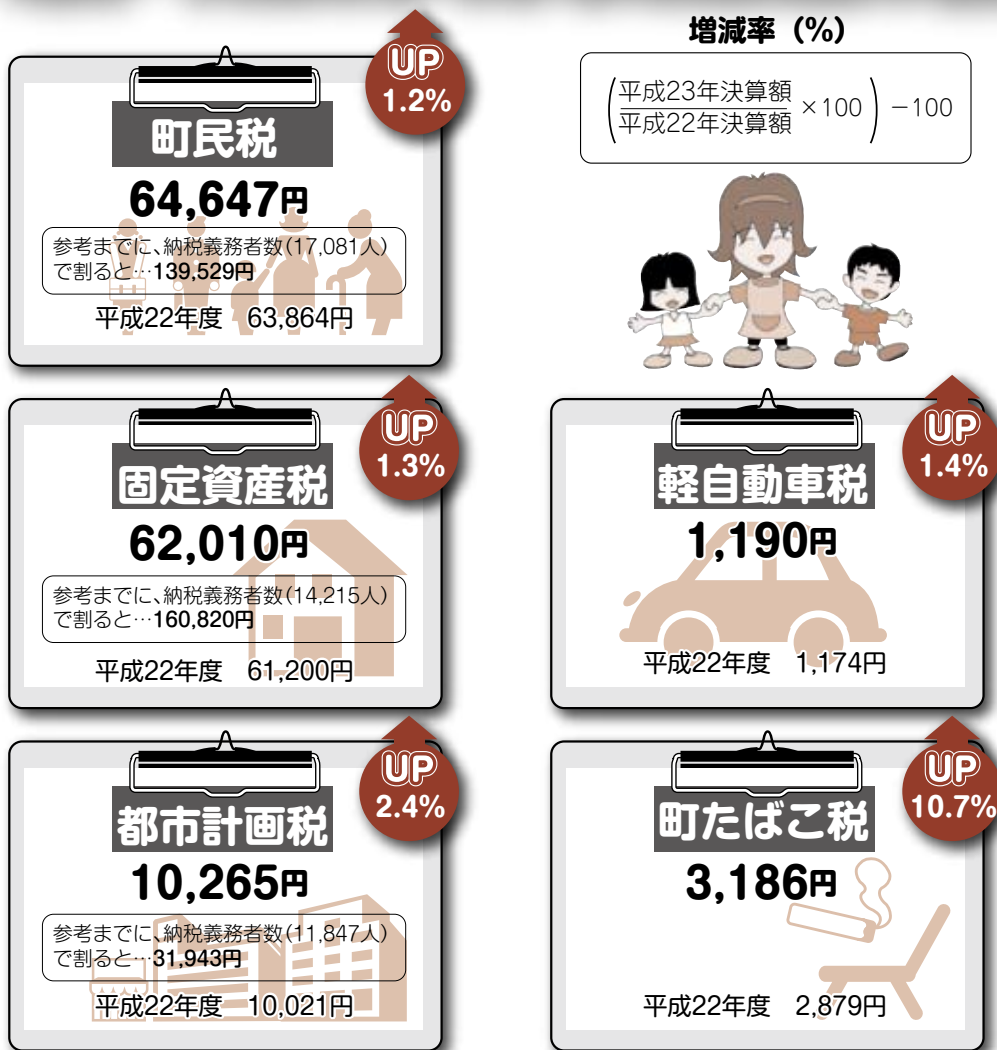
便利で安心! JAバンク

精華町祝園駅西1丁目31-5

TEL 0774-94-2103  
FAX 0774-94-5739

# 町民一人あたりでみる町税負担の状況

町民一人あたりでみる決算



都市計画税は、こんな事業に使われています！

| 区 分                 | 金額<br>(万円) | 左記の財源内訳 |        |       |       |        |        |
|---------------------|------------|---------|--------|-------|-------|--------|--------|
|                     |            | 都市計画税   | 国・府支出金 | 地方債   | その他   | 基金繰入金  | 一般財源   |
| 都市計画事業費             |            |         |        |       |       |        |        |
| 狛田駅東特定土地地区画整理事業     | 32,302     | 615     | 8,303  | 6,140 | 4,393 | 12,851 | 0      |
| 公共下水道事業(一般会計からの繰入金) | 61,666     | 2,623   | 0      | 0     | 0     | 3,426  | 55,617 |
| 都市計画事業充当地方債償還金      | 34,605     | 34,605  | 0      | 0     | 0     | 0      | 0      |
| 合 計                 | 128,573    | 37,843  | 8,303  | 6,140 | 4,393 | 16,277 | 55,617 |

都市計画税は、都市計画事業や土地地区画整理事業を行う市町村で、その事業に必要な費用に充てるための目的税として課税されるものです。都市計画税が充てられる主な事業は、都市計画道路などの交通施設や、公園、広場などの公共空地、下水道などの施設整備などです。なお、都市計画税が充当される事業には、町税などの一般財源や、国・府の支出金、地方債なども充当します。

なが——い、おつきあい。

貯める、運用する、借り入れる、  
積み立てる、備える、管理する…  
京都銀行は、人生のさまざまなシーンで  
皆様を応援します。  
お気軽にご相談ください。

飾らない銀行 精華町支店  
京都銀行 TEL.0774(93)2300

おかげさまで70周年 70th

一緒にうれしい  
On Your Side

みなさまのすぐなりに京都中央信用金庫がいます。

京都中央信用金庫  
精華支店

JR 祝園駅西300m  
TEL 0774(93)1321  
FAX 0774(93)1124

ナント・なら・ずっと！

NANTO 南都銀行

精華支店 ☎ 94-2580  
山田川支店 ☎ 72-8661  
けいはんなプラザ支店 ☎ 95-5131

# まちの決算状況(特別会計)



## 特別会計の決算状況はどうなっているのかな??

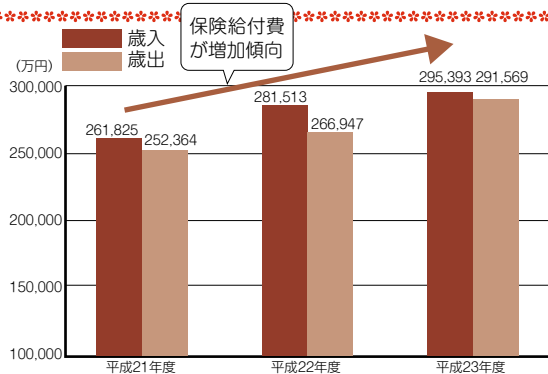
特別会計とは下水道や国民健康保険など、特定の事業を行う場合に、一般会計と区別しているものです。特別会計の決算状況をそれぞれ見てみましょう。

※各会計ごとに経年比較をしているので、グラフの目盛りはそれぞれ異なります。

### ■国民健康保険事業特別会計

国民健康保険法に基づく特別会計で、精華町を保険者とする国民健康保険の運営(被保険者に対する国民健康保険税の収納や医療費の給付など)にかかる収支を、一般会計と同じく公会計方式で経理しています。

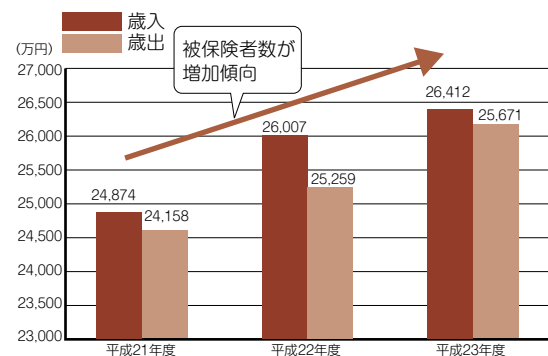
平成23年度決算では、歳入歳出の差し引きが3,824万円の黒字決算ですが、平成22年度からの繰越金や交付金の増加によるものです。また、国民健康保険税収入は3.3%増加し、保険給付費が7.7%増加しました。



### ■後期高齢者医療特別会計

高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特別会計で、京都府後期高齢者医療広域連合に代わり後期高齢者医療制度の被保険者に対する保険料を徴収し広域連合へ納付する費用などにかかる収支を、一般会計と同じく公会計方式で経理しています。

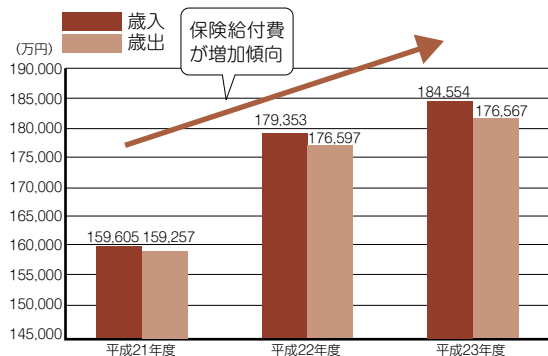
平成23年度決算では、歳入歳出の差し引きが741万円の黒字となりますが、全額翌年度に精算するための費用となるものです。



### ■介護保険事業特別会計

介護保険法に基づく特別会計で、精華町を保険者とする介護保険の運営(被保険者に対する保険料の収納や介護費の給付など)にかかる収支を、一般会計と同じく公会計方式で経理しています。

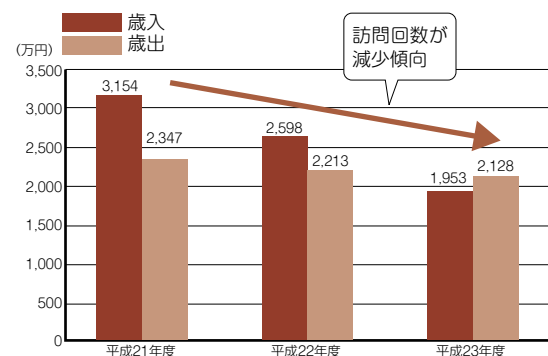
平成23年度決算では、歳入歳出の差し引きが7,987万円の黒字決算ですが、京都府財政安定化基金より9,534万円借入れ、また平成17年度において基金のほぼ全てを取り崩しているため、今後の厳しい財政運営が予想されます。



### ■介護サービス事業特別会計

精華町訪問看護ステーションによる訪問看護事業の運営にかかる収支を、一般会計と同じく公会計方式で経理するため、任意で設置している特別会計です。

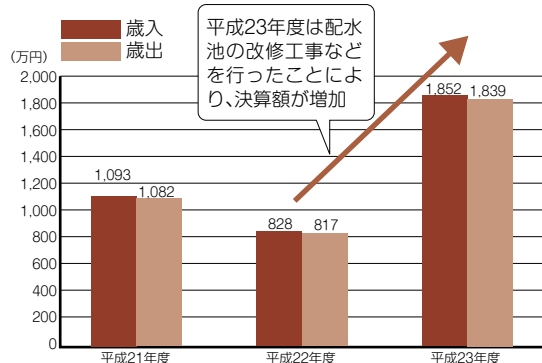
平成23年度決算では、歳入が繰越金を含め1,953万円、歳出が2,128万円で、差し引き175万円の赤字となりました。歳入における各種事業収入は、1,545万円となり、前年度比で11.5%の減となりました。これは、訪問看護件数及び回数の減少などが要因です。



## ■簡易水道事業特別会計

地方財政法に基づく公営企業として設置している特別会計で、簡易水道(旭地区への給水)の運営にかかる収支を、一般会計と同じく公会計方式で経理しています。

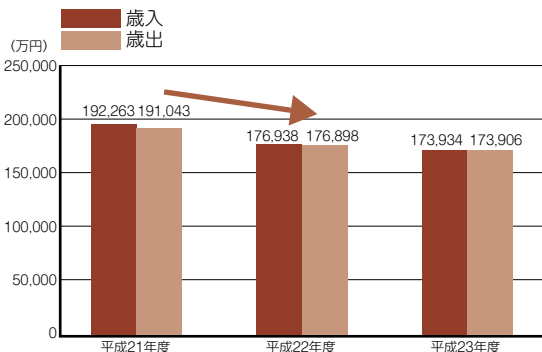
平成23年度決算では、歳入が1,852万円、歳出が1,839万円で、差し引き13万円の黒字となりました。



## ■公共下水道事業特別会計

地方財政法に基づく公営企業として設置している特別会計で、公共下水道としての汚水の処理や処理施設の整備と管理、また雨水の排水施設の整備と管理などの運営にかかる収支を、一般会計と同じく公会計方式で経理しています。

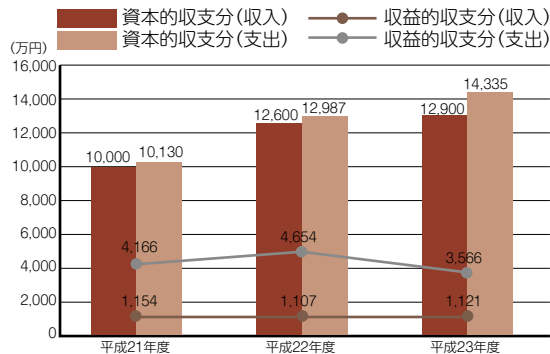
平成23年度決算では、歳入が17億3,934万円、歳出が17億3,906万円で、差し引き28万円の黒字となりました。



## ■国民健康保険病院事業特別会計

地方公営企業法に基づく公営企業として設置している特別会計で、精華町国民健康保険病院の運営にかかる収支を、企業会計方式で経理しています。

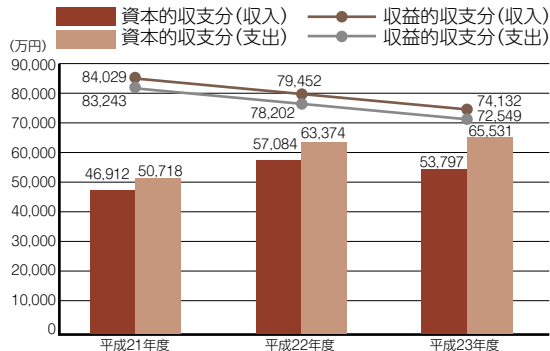
平成23年度決算では、収益的収支の差し引きは2,445万円の純損失となり、資本的収支の差し引きは1,435万円の不足となり、これは過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。



## ■水道事業特別会計

地方公営企業法に基づく公営企業として設置している特別会計で、水道の給水にかかる施設整備や管理などの運営にかかる収支を、企業会計方式で経理しています。

平成23年度税込決算では、収益的収支の収益は、差し引き1,583万円の黒字となり、資本的収支の差し引きは1億1,734万円の赤字となり、これは損益勘定留保資金等で補てんしました。



本紙への広告掲載の  
お問い合わせ先



精華町役場

総務部 財政課 財政管理係  
☎0774-95-1914

企画から印刷まで どのような印刷物でもご相談下さい





# 平成23年度に実施した主なまちのしごと

- ①各項目の左の金額は決算額、( ) 内の金額は年度当初予算額です。  
 ②予算の補正や流用、前年度予算からの繰越や翌年度予算への繰越がある場合は、決算額と予算額が整合しない場合があります。  
 ③決算額が予算額と比較しておおむね20%以上の増減がある場合は、※で主な理由を付記しています。

## 1 地域に誇りの持てるまちづくり



### 国際化の推進

- 国際理解・国際交流、姉妹都市事業の推進…149万円(274万円)  
 ※国際交流員の交代がなかったことや、経費節減に努めたことによる減少
- 外国人指導助手招致…355万円(371万円)

### 文化振興の推進

- けいはんな学研都市文化振興事業…116万円(116万円)

### せいか祭りの開催

- せいか祭り開催負担金…700万円(700万円)

### (仮称)第5次総合計画の策定

- 【新】総合計画改定事業…1,291万円(1,500万円)

### 国民文化祭「少年少女合唱フェスティバル」の開催

- 国民文化祭開催経費…380万円(380万円)

### 男女共同参画社会の実現

- 男女共同参画社会推進事業…150万円(146万円)

### 人権啓発の推進

- 各種人権啓発事業…236万円(279万円)

### 郷土の歴史の伝承と普及

- 文化財保護事業…439万円(468万円)
- 町内遺跡発掘調査…3万円(1,100万円)  
 ※対象となる開発事業がなく、発掘調査を実施しなかったことによる減少



せいか祭り



国民文化祭 少年少女合唱フェスティバル

## 2 環境共生のまちづくり

### 快適環境の保全、循環型社会の実現

- 廃棄物減量・リサイクル推進事業…665万円(887万円)
- きれいなまちづくり運動推進事業…35万円(35万円)
- ごみ収集処理・し尿処理…3億5,405万円(4億2,042万円)

### 里山保全モデルづくりの推進

- 里山保全モデルづくり推進事業…12万円(12万円)

### まちの情報化の促進

- 地域密着型情報化推進事業…34万円(54万円)  
 ※住民向け研修経費等について経費節減に努めたことによる減少
- 情報化基本計画策定事業…44万円(51万円)
- 情報処理システム管理運営事業…5,595万円(4,790万円)

### 農業基盤の整備

- 土地改良施設等の助成…482万円(490万円)



打ち水大作戦



## 農業農村の活性化の推進

- 農産物育成・販売促進事業…115万円（143万円）
- 戸別所得補償制度推進事業…161万円（200万円）
- 水田利活用自給力向上事業…67万円（91万円）  
※事業実績による減少
- 中山間地域での農地保全に対する助成…139万円（139万円）

## 都市基盤の整備

- ①道路整備…1億3,983万円（2億1,959万円）【繰越事業を含む】  
※事業費の一部を翌年度へ繰り越したことによる減少

### ～主な路線～

- 南・中学校線道路改良事業…603万円【繰越事業】
- 舟・滝ノ鼻線道路改良事業…3,745万円【繰越事業】
- 祝園20号線道路改良事業…597万円
- 菅井・菱田線道路改良事業…1,586万円
- 僧坊・前川線道路改良事業…1,171万円【繰越事業を含む】
- 下粕10・11号線道路改良事業…110万円
- 下粕排水路整備事業…2,248万円【繰越事業を含む】

### ②河川整備

- 煤谷川河川改修事業…1億2,699万円（1億4,100万円）

- ③粕田駅東特定土地区画整理事業…3億2,302万円（3億9,221万円）【繰越事業を含む】

## 上水道事業の推進

- 上水道供給事業…3,433万円（3,906万円）

## 下水道事業の推進

- 公共下水道幹線管渠の整備・面的整備の推進…4億166万円（5億5,694万円）  
※国庫補助金の減額や経費節減、入札実績による減少
- 木津川上流流域下水道の建設負担金…2,602万円（5,251万円）  
※京都府へ支払う流域下水道建設負担金の確定による減少
- 木津川上流流域下水道の終末処理場の維持管理負担金…2億9,570万円（3億1,000万円）

## 交通安全対策の推進

- 通学路の安全対策として交通指導員の設置…107万円（91万円）
- 交通安全施設の整備、交通安全灯電気代など…2,094万円（1,844万円）

## 防災対策の推進、消防活動の充実

- 【新】消防団車両更新事業…509万円（557万円）
- 【新】消防団査閲事業…240万円（223万円）
- 【新】指令台更新の実施…1,554万円（2,000万円）  
※入札実績による減少
- 【新】特別表彰まとい受章記念事業…132万円（0万円）  
※平成23年12月末に受章が決定し、補正予算で計上したことによる増加
- 緊急備蓄物資の整備…500万円（500万円）
- 防災訓練の実施…63万円（91万円）  
※経費節減に努めたことによる減少
- 建築物耐震改修促進事業…323万円（588万円）  
※事業費の一部を繰り越したことによる減少



農業塾



町道菅井・菱田線道路改良事業



精華町消防団まとい受章パレード



## 3 子どもを育むまちづくり

### 子育て支援の充実

- 【拡】子育て支援事業…1,985万円(758万円)  
※府の補助金採択を受け、年度途中に補正予算で追加計上して実施したことによる増加
- 子育て支援センターの運営…320万円(351万円)
- 子ども手当、児童福祉手当の給付…8億5,948万円(9億5,630万円)
- 子育て支援医療費助成の実施…1億4,037万円(1億2,878万円)
- 【新】児童虐待防止対策緊急強化事業…359万円(0万円)  
※府の補助金採択を受け、年度途中に補正予算で計上して実施したことによる増加
- 子ども祭りの開催…143万円(158万円)



子ども祭り

### 児童福祉の充実

- 民間事業者への2保育所運営委託…3億3,758万円(3億3,900万円)
- 3保育所の運営…4億6,721万円(4億5,327万円)
- ほうその保育所の建設…2億735万円(2億160万円)【繰越事業を含む】
- 病児・病後児保育事業の委託…528万円(570万円)
- 放課後児童クラブの運営…9,230万円(1億130万円)
- 精華まなび体験教室の実施…119万円(161万円)



ほうその保育所開所式

### 母子保健の充実

- 各種健診、教室、妊婦健康診査費の助成等の母子保健事業…3,585万円(4,311万円)
- 子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種助成…6,790万円(3,510万円)  
※年度途中に補正予算で追加計上して実施したことによる増加

### 学校教育の振興

- 【新】小中学校図書情報システム整備事業…243万円(320万円)
- 特色ある学校づくりの推進…160万円(170万円)

### 学校施設整備の推進

- 【新】小中学校暑さ対策事業…105万円(0万円)  
※年度途中に補正予算を計上して実施したことによる増加
- 【新】小中学校特別支援教室空調設備整備事業…130万円(650万円)  
※年度途中に補正予算で増額したが、工事費を繰り越したことによる減少
- 【新】精華中学校校舎改築等事業…137万円(150万円)



小・中学校文化交流会

### 私立幼稚園との連携

- 私立幼稚園に通う園児に対する助成…2,277万円(2,412万円)
- 私立幼稚園に対する運営助成…230万円(243万円)

## 4 健康長寿のまちづくり

### 健康づくりの推進

- 健康増進計画の推進…42万円(42万円)
- ひとり親家庭や障害者の医療費助成…9,736万円(9,766万円)
- 高齢者の医療費助成…5,912万円(6,096万円)



健康づくり運動講座

### 地域医療活動の実施

- 指定管理者制度による病院事業の運営委託及び運営資金短期貸付…1億7,902万円(1億9,272万円)
- 訪問看護ステーションの運営…2,128万円(2,534万円)  
※事業実績による減少

### 障害者福祉の充実

- 自立支援給付事業の実施…3億6,781万円(3億5,530万円)
- 地域生活支援事業の実施…4,537万円(4,671万円)

### 高齢者福祉の充実

- 敬老会の開催…515万円(672万円)  
※実施実績による減少
- シルバー人材センターの運営支援…632万円(632万円)
- 後期高齢者医療広域連合への医療費負担…1億8,439万円(1億7,631万円)



敬老会



## 地域福祉ネットワークの推進

- 地域福祉計画事業…148万円（158万円）
- 【新】地域支え合い体制づくり事業…1,187万円（0万円）

※府の補助金採択を受け、年度途中に補正予算で計上して実施したことによる増加

## 生涯学習・生涯スポーツの推進

- 生涯学習、各種講座開催…415万円（566万円）  
※講座の委託費等について軽費節減に努めたことによる減少
- 生涯スポーツ振興事業…235万円（283万円）
- 文化・スポーツ振興奨励金、町民文化賞…8万円（21万円）  
※該当者数の実績が少なかったことによる減少

## 図書館活動の充実

- 図書や視聴覚資料の購入費…1,305万円（1,351万円）【繰越事業を含む】



町民体育大会

## 5 経済活性化のまちづくり

### 新産業創出の支援

- 新産業創出交流センター事業負担金…600万円（600万円）
- 企業誘致促進事業…3,509万円（3,934万円）

### 既存産業の振興

- 商工会への運営助成…1,045万円（1,045万円）
- 中小企業融資制度による保証料補給など…750万円（885万円）

### 雇用機会の創出、人材活用の実施

- 人材活用事業…8,123万円（7,891万円）
- 緊急雇用対策事業の実施…4,800万円（4,177万円）



企業誘致の促進

## 6 学研都市広域連携のまちづくり

### 広域連携の推進

- 京田辺・精華・木津川学研都市行政連絡会負担金…100万円（100万円）
- けいはんな学研都市活性化促進協議会負担金…650万円（650万円）

### 情報公開、情報提供の推進

- 広報誌「華創」の発行や、住民手帳、町勢要覧の部分修正…1,207万円（1,390万円）
- 行政評価システム導入事業…195万円（200万円）
- 財務情報などの公表…137万円（180万円）  
※経費節減に努めたことによる減少
- 新地方公会計制度への対応…50万円（50万円）

### 総合窓口等の向上

- 総合窓口サービスの充実…95万円（81万円）
- 証明発行サービス（住民サービスコーナー・下粕郵便局）…488万円（495万円）

### 町内交通対策の推進

- コミュニティバスの実証運行…2,734万円（2,824万円）



くるりんバスの運行



### ふるさと納税活用事業…72万円（71万円）

#### ～事業内容～

各種健診事業やイベント時に使用する健康づくりに関する備品の整備（歩数計、血圧計など）

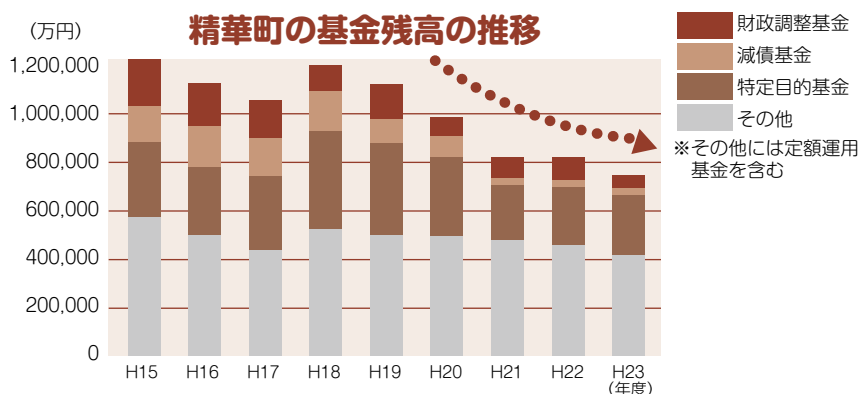


# まちの基金(貯金)と債務(借金)

## 精華町の基金(貯金)について

平成23年度末での町全体の貯金残高は約75億5千5百万円(ペイオフ対策による水道事業財政調整基金から一般会計への貸付金残高を含む。)になり、町民一人あたりでは、約20万円となります。平成22年度末と比較すると残高総額は約5億3千2百万円減少しており、これは歳入不足を補うための基金の取り崩しや、事業推進のための取り崩しを多く行ったことによるものです。

各種事業の計画的な実施のための財源確保と、町債などの将来負担への準備として、今後も各種基金の適正管理に努めます。



平成23年度は、将来、消防庁舎の建替えに必要なお金を貯金するために、消防庁舎建設基金を新たに創設しました。



(単位：万円 △はマイナス)

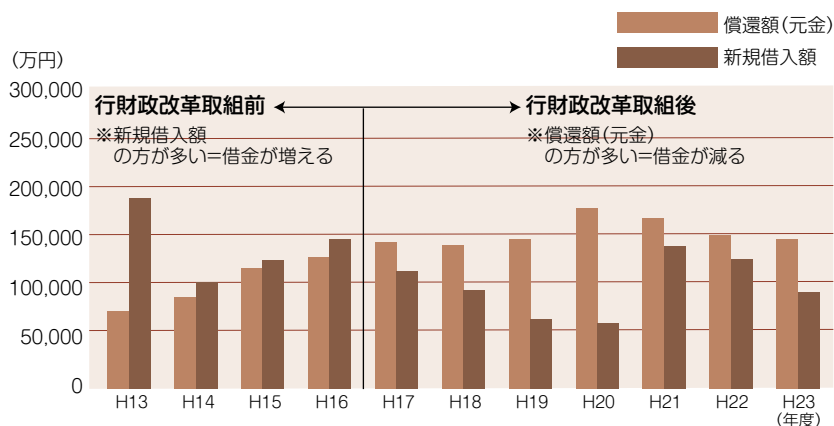
### 精華町の基金(貯金)の種類と残高

| 基金名称   |                        | 平成23年度  | 平成22年度  | 増減       |
|--------|------------------------|---------|---------|----------|
| 財政調整基金 |                        | 78,643  | 109,182 | △ 30,539 |
| 減債基金   |                        | 11,324  | 14,759  | △ 3,435  |
| 特定目的基金 | 振興特別基金                 | 19,274  | 21,896  | △ 2,622  |
|        | 町営住宅建設基金               | 3,822   | 3,814   | 8        |
|        | 宅地開発事業に関する諸施設整備基金      | 57,769  | 51,295  | 6,474    |
|        | 都市計画事業基金               | 13,134  | 13,107  | 27       |
|        | コミュニティセンター建設基金         | 6       | 6       | 0        |
|        | 地域福祉施設整備基金             | 8,503   | 8,830   | △ 327    |
|        | 住宅新築資金等貸付事業基金          | 1,883   | 1,887   | △ 4      |
|        | 社会福祉奨学基金               | 477     | 491     | △ 14     |
|        | 地域福祉基金                 | 3,637   | 3,642   | △ 5      |
|        | ふるさと・水と土保全基金           | 1,030   | 1,028   | 2        |
|        | 学校建設基金                 | 60,119  | 65,354  | △ 5,235  |
|        | 粕田駅周辺整備基金              | 44,085  | 56,819  | △ 12,734 |
|        | 【新】消防庁舎建設基金            | 9,500   | -       | 9,500    |
|        | 【新】特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金 | 3,196   | -       | 3,196    |
| 小計     |                        | 226,435 | 228,169 | △ 1,734  |
| 一般会計中計 |                        | 316,402 | 352,110 | △ 35,708 |
| 用定額連   | 高額医療費つなぎ資金貸付基金         | 100     | 100     | 0        |
|        | 用品調達基金                 | 350     | 350     | 0        |
|        | 小計                     | 450     | 450     | 0        |
| その他    | 国民健康保険特別会計財政調整基金       | 7,309   | 9       | 7,300    |
|        | 介護保険給付費準備基金            | 2       | 2       | 0        |
|        | 介護従事者処遇改善臨時特例基金        | 0       | 485     | △ 485    |
|        | 水道事業財政調整基金             | 431,363 | 455,693 | △ 24,330 |
|        | 小計                     | 438,674 | 456,189 | △ 17,515 |
| 合計     |                        | 755,526 | 808,749 | △ 53,223 |

## 精華町の債務(借金)について

精華町の実質債務残高は、平成23年度末で約320億円となっています。学研都市建設に伴う教育施設の整備や基盤整備を着実に進めることで都市環境の充実に努めてきましたが、その一方で大きな債務を抱えることになったのも事実です。大きな債務残高は本町の課題となり、将来世代へ過度な負担を残さないためにも、できるだけ債務を減少させる取り組みを進めています。

右のグラフは、一般会計の過去10年間の地方債(借金)の返済額と新規借入額を年度ごとに並べてみたものです。平成16年度までは新規借入がその年の返済額を上回っていましたが、平成17年度以降は行財政改革の取り組みの一環として、新規借入を返済額の範囲内に抑えてきました。そうすることで、返済額と借入額の差額分だけ債務残高を減らすことになるからです。



この結果、債務残高合計を着実に減らしてきたことが下のグラフからわかります。今後も、債務減少と基金積立の両面に計画的に取り組んでいきます。

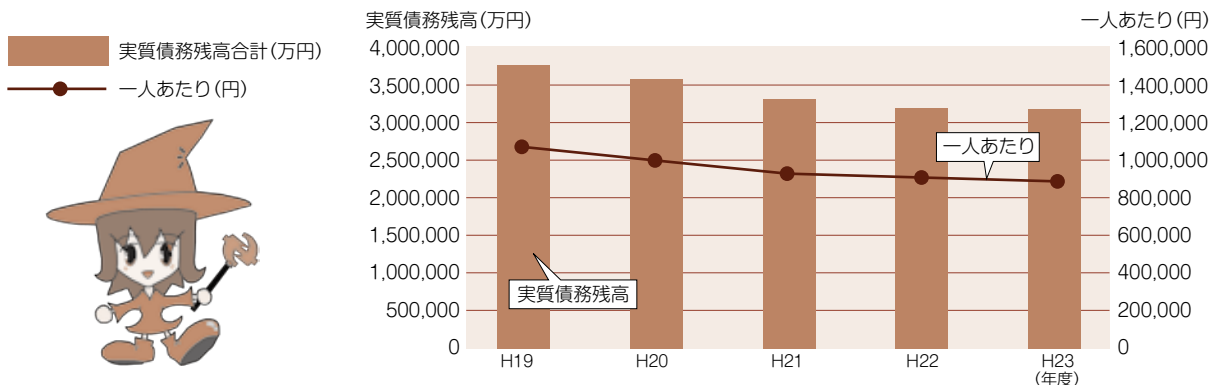
### 精華町の実質債務残高

(単位: 万円、△はマイナス)

| 会計名称        | 平成23年度    | 平成22年度    | 増 減     |
|-------------|-----------|-----------|---------|
| 一般会計        | 2,108,030 | 2,198,889 | △90,859 |
| 公共下水道事業特別会計 | 1,077,735 | 1,086,012 | △8,277  |
| 簡易水道事業特別会計  | 2,140     | 2,210     | △70     |
| 介護保険事業特別会計  | 17,645    | 8,111     | 9,534   |
| 合 計         | 3,205,550 | 3,295,222 | △89,672 |



### 《精華町の実質債務残高(全会計)と町民一人あたりの実質債務額》



実質債務残高とは…「地方債残高」と「翌年度以降支出予定債務負担行為残高」の合計額です。地方債残高は、住宅ローンのように銀行などから借りたお金の未返済額のこと、まさに借金の残高です。これに対して債務負担行為残高とは、例えばクレジットカードで分割払いの買い物をしたときの、カード会社へ支払う残りのお金のことです。正確には借金をしたわけではありませんが、将来にわたって必ず支払わなければならないことは借金と変わりませんので、二つの合計が実質的な債務ということになります。

# 新地方公会計制度に基づく財務諸表を公開

## 精華町の平成23年度普通会計財務諸表

平成19年10月に総務省が公表した「新地方公会計制度実務研究会報告書」に基づく「総務省方式改訂モデル」により、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書からなる、平成23年度の財務諸表を作成しました。

行政コスト計算書 (自平成23年4月1日  
至平成24年3月31日) (単位：万円)

|                    |           |
|--------------------|-----------|
| 【経常行政コスト】(①)       | 1,050,436 |
| 1. 人にかかるコスト        | 242,727   |
| (1)人件費             | 211,989   |
| (2)退職手当引当金繰入等      | 18,376    |
| (3)賞与引当金繰入額        | 12,362    |
| 2. 物にかかるコスト        | 358,120   |
| (1)物件費             | 182,956   |
| (2)維持補修費           | 7,160     |
| (3)減価償却費           | 168,004   |
| 3. 移転支出的なコスト       | 405,734   |
| (1)他会計等への支出        | 142,469   |
| (2)社会保障給付費         | 198,618   |
| (3)補助金等            | 60,447    |
| (4)他団体への公共資産整備補助金等 | 4,200     |
| 4. その他のコスト         | 43,855    |
| (1)支払利息            | 41,040    |
| (2)回収不能見込計上額       | 2,815     |
| 【経常収益】(②)          | 57,316    |
| (1)使用料・手数料         | 38,202    |
| (2)分担金・負担金・寄附金     | 19,114    |
| 純経常行政コスト (①-②)     | 993,120   |

純資産変動計算書 (自平成23年4月1日  
至平成24年3月31日) (単位：万円)

|              |           |
|--------------|-----------|
| 期首純資産残高      | 5,900,571 |
| 純経常行政コスト     | △ 993,120 |
| 一般財源         |           |
| 地方税          | 519,778   |
| 地方交付税        | 190,254   |
| その他行政コスト充当財源 | 75,241    |
| 補助金等受入       |           |
| 公共資産等整備国府補助金 | 15,333    |
| その他一般財源等補助金  | 167,898   |
| 臨時損益         |           |
| 災害復旧事業費      | △318      |
| 公共資産除売却損益    | △314      |
| 資産評価替えによる変動額 | △ 2,344   |
| 期末純資産残高      | 5,872,979 |

行政コスト計算書とは、1年間の行政活動のうち、経常的な行政活動にかかる経費（経常的な費用）と、その行政活動と直接対価性のある使用料・手数料などの収益（経常的な収益）を対比させた財務書類です。これにより、資産形成に結びつかない経常的な行政活動について税収や、国庫支出金などでまかなうべき行政コストが示されます。

本町の経常費用は、105億436万円で、経常収益は5億7,316万円なので、これらの差引である純経常行政コストは、99億3,120万円となります。この金額が、地方税や補助金などでまかなうべきコストであるといえます。



純資産変動計算書は、貸借対照表の純資産が、1年間でどのように変動したかを表す財務書類です。

純資産変動計算書においては、地方税、地方交付税等の一般財源および国府支出金などの特定財源が純資産の増加要因として直接計上され、行政コスト計算書で算出された純経常行政コストが、純資産の減少要因として計上されることなどにより、1年間の純資産総額の変動が示されます。

本町においては、期首純資産残高が 590 億 571 万円であったものが、純経常行政コストの発生によりマイナス 99 億 3,120 万円、一般財源の受入れ 78 億 5,273 万円および補助金などの受入れ 18 億 3,231 万円などにより、期末純資産残高が 587 億 2,979 万円となったことがわかります。この期末純資産残高が貸借対照表の純資産合計と一致します。



貸借対照表（平成24年3月31日現在）

（単位：万円）

| 【資産の部】     |           | 【負債の部】          |           |
|------------|-----------|-----------------|-----------|
| 1. 公共資産    |           | 1. 固定負債         |           |
| (1)有形固定資産  | 7,594,808 | (1)地方債          | 1,405,297 |
| (2)売却可能資産  | 70,204    | (2)長期未払金        | 438,406   |
| 2. 投資等     |           | (3)退職手当引当金      | 213,637   |
| (1)投資及び出資金 | 58,282    | 2. 流動負債         |           |
| (2)貸付金     | 273       | (1)翌年度償還予定地方債   | 146,119   |
| (3)特定目的基金等 | 291,880   | (2)その他          | 57,224    |
| (4)長期延滞債権  | 11,818    | 負債合計            | 2,260,683 |
| 3. 流動資産    |           | 【純資産の部】         |           |
| (1)歳計現金    | 12,949    | 1. 公共資産等整備国府補助金 | 1,295,436 |
| (2)減債基金等   | 89,967    | 2. 公共資産等整備一般財源等 | 5,072,027 |
| (3)未収金     | 3,481     | 3. その他一般財源等     | △ 561,370 |
|            |           | 4. 資産評価差額       | 66,886    |
| 資産合計       | 8,133,662 | 純資産合計           | 5,872,979 |
|            |           | 負債・純資産合計        | 8,133,662 |

【注記】有形固定資産のうち、土地は299億8,704万円です。

また有形固定資産の減価償却累計額は291億4,795万円です。

貸借対照表は、会計年度末（基準日）時点で、精華町がどのような資産を保有しているのか（資産保有状況）と、その資産がどのような財源でまかなわれているのか（財源調達状況）を対照表示した財務書類です。「資産」とは、「将来の資金流入をもたらすもの」や「行政サービス提供能力を有するもの」をいいます。「負債」とは、将来、債権者に対する支払や返済により、資金流出をもたらすものであり、地方債がその主たる項目です。「純資産」とは、資産と負債の差額であり、これまでの一般財源または国府補助金などを充当して整備したものといえます。借方の資産合計額と、貸方の負債・純資産合計額の左右が一致することから「バランスシート」とも呼ばれます。

本町においては、平成23年度末現在において、813億3,662万円の資産を保有し、その財源については、負債226億683万円（27.8%）と純資産587億2,979万円（72.2%）で構成されていることがわかります。

資金収支計算書（自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）

（単位：万円）

|                     |           |
|---------------------|-----------|
| 1. 経常的収支の部          |           |
| 人件費、物件費、社会保障給付等の支出  | 798,420   |
| 地方税、地方交付税、国府補助金等の収入 | 1,122,464 |
| 経常的収支額              | 324,044   |
| 2. 公共資産整備収支の部       |           |
| 公共資産整備等の支出          | 103,928   |
| 地方債発行、国府補助金等の収入     | 62,934    |
| 公共資産整備収支額           | △ 40,994  |
| 3. 投資・財務的収支の部       |           |
| 地方債償還、基金積立等の支出      | 287,381   |
| 公共資産等売却等の収入         | 7,612     |
| 投資・財務的収支額           | △ 279,769 |
| 翌年度繰上充用金増減額         | 0         |
| 当年度歳計現金増減額          | 3,281     |
| 期首歳計現金残高            | 9,668     |
| 期末歳計現金残高            | 12,949    |

資金収支計算書は、民間企業会計におけるキャッシュフロー計算書にあたり、資金（歳計現金）の出入りの情報を、活動の性質により分類して表示する財務書類です。「経常的収支の部」、「公共資産整備収支の部」、「投資・財務的収支の部」に分類することで、どの活動で資金を調達し、どの活動で資金を使用しているのかをみることができます。

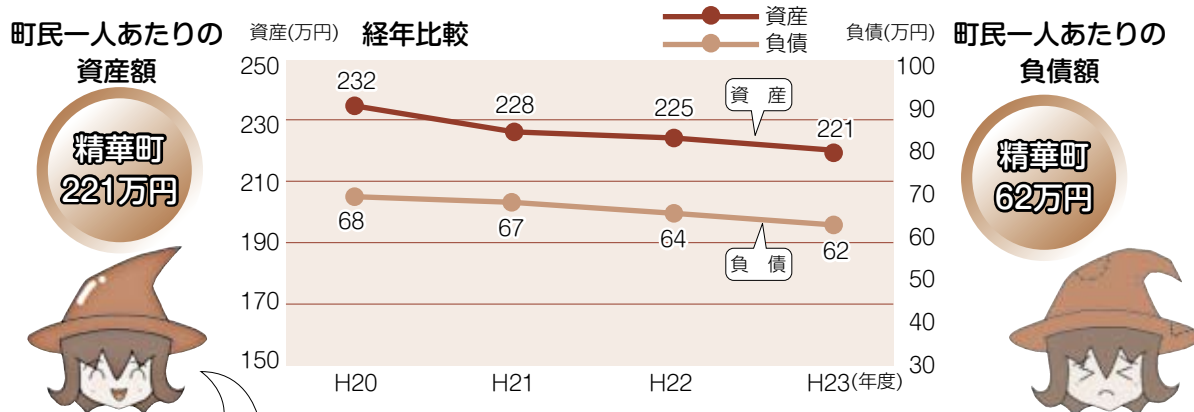
本町においては、経常的収支額32億4,044万円、公共資産整備収支額マイナス4億994万円、投資・財務的収支額マイナス27億9,769万円であり、経常的収支の部で生じた収支余剰（黒字）で公共資産整備収支の部と投資・財務的収支の部の収支不足（赤字）を穴埋め（補てん）している関係になっています。この結果、当年度資金増減額は3,281万円となっています。これを期首資金残高9,668万円と合算することにより、期末歳計現金残高は1億2,949万円となったことがわかります。この額は貸借対照表の流動資産である歳計現金の額と一致します。

※「近隣団体(木津川市)」のデータは、平成21・22年度普通会計財務4表を利用しています。また、「府内平均」は総務省ホームページで公開されている府内団体の公表資料から読み取る範囲で精華町が独自に分析していますので、各指標により団体数にばらつきがあります。

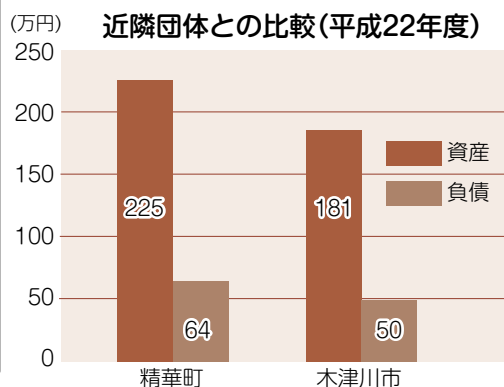
## ～町民一人あたりの貸借対照表～ 将来世代に残る資産や借金はどれくらいあるのかな？

貸借対照表における資産の数値を、わかりやすくするため、町民一人あたりの数値に置きなおしてみました。

精華町の資産や負債について、身近なものにおきかえて考えてみましょう。

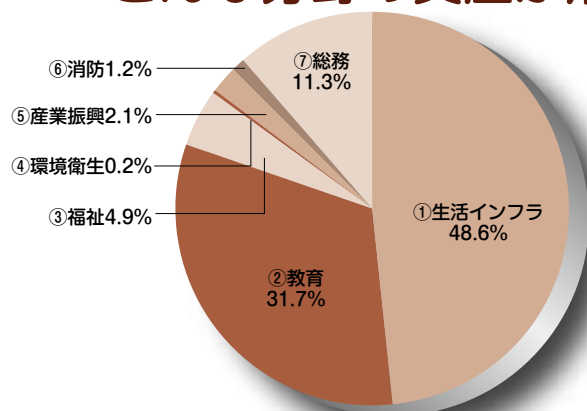


一人が保有する全財産(資産)は、平成23年度末においては221万円となっています。この全財産には、現に住んでいる(使用している)住宅や土地、将来的に資金化できる定期預金や株券、必要に応じてすぐに使える普通預金や現金などが含まれています。上の経年比較のグラフをみると、資産は徐々に減少していますが、これは貯金(基金)の取り崩しや、住宅などの建物の価値の減少によるものです。しかし、近隣団体との比較のグラフをみると、精華町の資産は木津川市より多いことがわかります。



一方、平成23年度末において、一人あたりでみると62万円の負債は、住宅ローンなどの借金にあたるものといえます。本町では、新規の地方債発行額を年度内に償還する元金額の範囲内にとどめるなどの公債費適正化対策に継続的に取り組んでおり、経年比較のグラフからもわかるように、負債は減少傾向にあります。しかし、近隣団体との比較のグラフをみると、精華町は木津川市と比べ、負債が多い団体であることがわかります。

## ～有形固定資産の行政目的別割合～ どんな分野の資産が形成されてきたのかな？



精華町の平成23年度末の有形固定資産は、生活インフラ資産の割合が48.6%、次いで教育資産の割合が31.7%と高くなっています。このことから、道路や公園、学校等の教育施設の整備に重点がおかれてきたことがわかります。

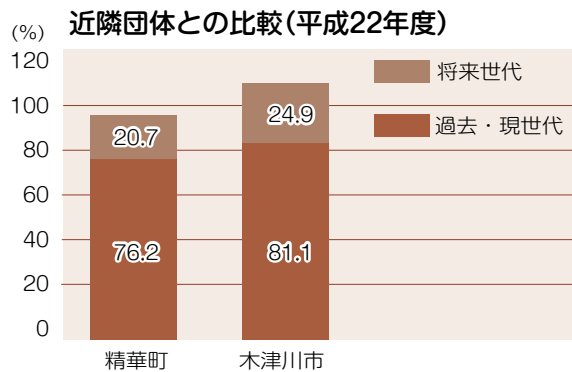
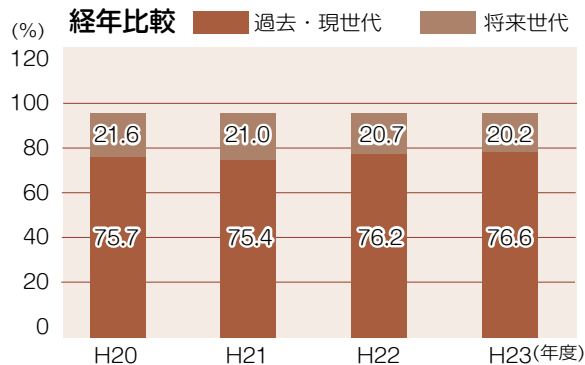
## 世代間公平性

## 将来世代と現世代の負担の分担は適切かな？

### ◆社会資本形成の世代間負担比率

社会資本形成の過去及び現世代負担比率＝純資産 ÷ 公共資産合計 × 100  
 社会資本形成の将来世代負担比率＝地方債残高 ÷ 公共資産合計 × 100

貸借対照表の公共資産合計額は、住民サービスを提供するために保有している資産ですが、この資産をこれまでの世代の負担でまかなってきたのか、将来の世代に負担していただかなければならないかの割合をみることで



平成23年度の精華町の比率は、これまでの世代の負担による分が76.6%、将来世代の負担が20.2%となります。平均的な数値は、これまでの世代負担が50%～90%、将来世代負担が15%～40%といわれていますので、精華町の世代間比率は平均的な水準であり、経年比較のグラフからは、将来世代の負担比率が、徐々に減少していることがわかります。

将来世代の負担である地方債残高は、少ない方が将来への負担は少なく済みませんが、公共資産整備をすべて現在の世代の負担でまかなうと、将来その資産を利用する世代の方は負担をしなくてもよいことになり世代間で不公平を生じてしまいます。過去・現世代の負担と将来世代の負担には、適切なバランスが必要です。

## 弾力性

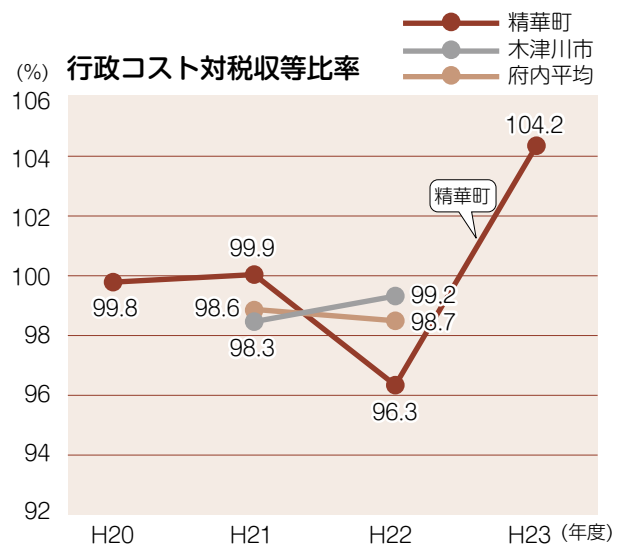
## 資産形成を行う余裕はどのくらいあるのかな？

### ◆行政コスト対税収等比率

精華町  
104.2%

行政コスト対税収等比率の平均的な値は、90%～110%の間の比率になります。平成23年度の精華町の比率は104.2%であり、平均的な値に入っていますが、100%を超えており、純経常行政コストが当年度の負担でまかなえなかったことがわかります。経年比較のグラフをみると、平成22年度については、96.3%と比率が低くなっていますが、これは寄附金等の増収という特殊要因があったためです。一方、平成23年度については、比率が高くなっており、基金の取り崩しに頼らざるを得ない財政状況であったことがうかがえます。

行政コスト計算書における純経常行政コストに対する一般財源比率をみることによって、当年度に行われた行政サービスのコストから受益者負担分を除いた純経常行政コストのうち、どれだけ当年度の負担でまかなわれたかがわかります。





## 資産形成度

### 将来世代に残る資産はどれくらいあるのかな？

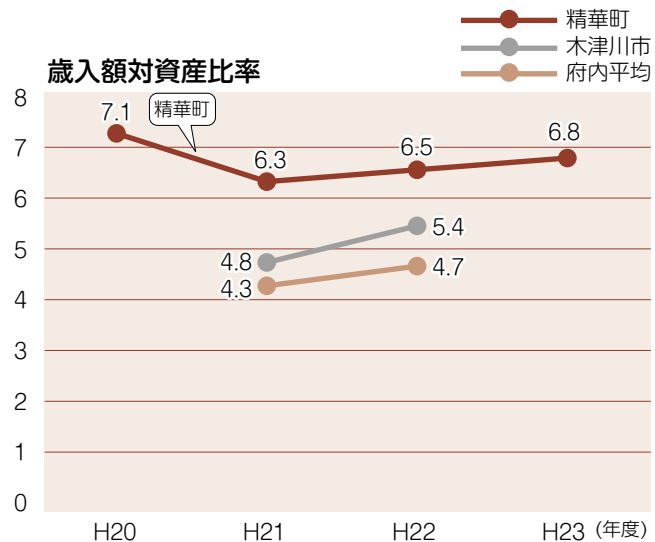
#### ◆歳入額対資産比率

歳入総額に対する資産の比率を算定することにより、形成されたストックである資産が何年分の歳入に相当するかをみることができ、社会資本の整備の度合いを示す指標といえます。

$$\text{歳入額対資産比率} = \text{資産合計} \div \text{歳入総額}$$



精華町  
6.8



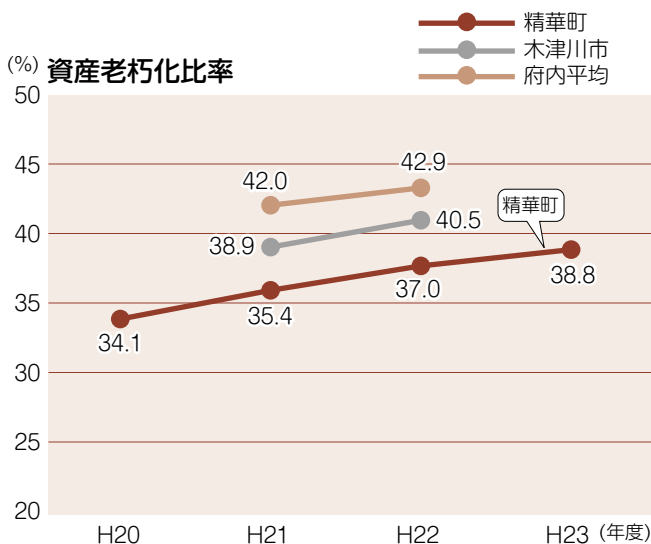
歳入額対資産比率の平均的な値は、3.0～7.0の間となります。平成23年度の精華町の比率は6.8と、平均的な値の水準の中でも上限に近い状況になっていることから、歳入規模に対する資産形成の観点からは、資産整備が進んでいると考えられます。グラフからもわかるように、近隣団体や府内平均と比較してみると、本町の比率が最も高く、比較的資産整備が進んでいることがわかります。

#### ◆資産老朽化比率

有形固定資産のうち、土地以外の償却資産の取得価額に対する減価償却累計額の割合を計算することにより、平均してどの程度年数が経過しているかを確認することができます。

資産老朽化比率＝

$$\text{減価償却累計額} \div (\text{有形固定資産合計} - \text{土地} + \text{減価償却累計額}) \times 100$$



精華町  
38.8%



資産老朽化比率の平均的な値は35%～50%の間の比率となります。精華町の比率は38.8%であり、平均の範囲内でも低い数値ですので、資産は比較的新しく老朽化が進んでいないといえますが、左のグラフをみると、徐々に老朽化していることがわかります。また、近隣団体と比較すると、精華町の資産が比較的新しいことがわかります。

## 自律性

### 受益者負担の水準はどうなっているのかな？

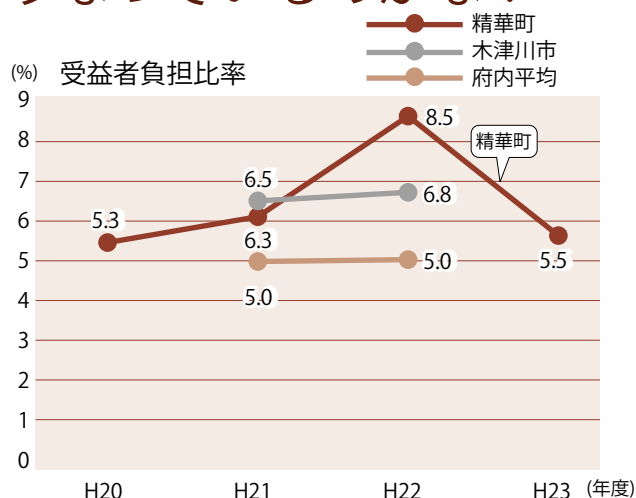
#### ◆受益者負担の割合

行政コスト計算書における経常収益は、いわゆる受益者負担の金額であるため、経常収益の行政コストに対する割合を算定することにより、受益者負担割合を算定することができます。

受益者負担比率＝経常収益÷経常行政コスト



精華町  
5.5%



平均的な値は2%～8%といわれています。右上のグラフをみると、平成22年度の精華町の値は高くなっていますが、これは、開発関連協力金等の寄附金による収入が影響しているためで、平成23年度は5.5%と低くなっていますが、府内平均と同じくらいの水準になっていますので、受益者に過度の負担をさせているわけではありません。

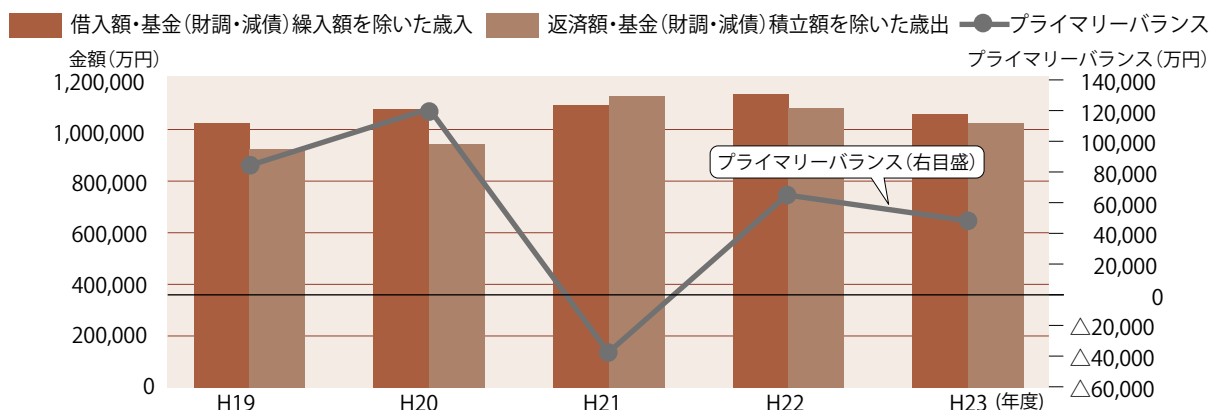
### 基礎的財政収支 プライマリーバランスはどうなっているのかな？

基礎的財政収支(プライマリーバランス)とは、政策的な支出を新たな借金に頼らずに、その年度の税収等でまかなわれているかどうかを示す指標です。具体的には、「歳入総額(前年度繰越金を除く)から地方債発行額及び財政調整基金・減債基金の取崩額を除いたもの」から「歳出総額(前年度剰余金積立金を加算)から地方債元利償還額及び財政調整基金・減債基金の積立額を除いたもの」を差し引いて算出します。基礎的財政収支が均衡することは、地方債発行残高の増加を止めるための条件となり、将来負担の軽減につながるようになります。

過去5年間をみても、ほとんどの年度において財政収支のバランスがとれており、その年度の支出はその年度の収入でまかなわれていることがわかります。

平成23年度決算におけるプライマリーバランス

|                |              |                |              |
|----------------|--------------|----------------|--------------|
| 収入総額           | 119 億3,010万円 | 支出総額           | 118 億9,729万円 |
| 地方債発行額         | △9 億1,730万円  | 地方債元利償還額       | 16 億9,932万円  |
| 財政調整基金・減債基金取崩額 | △3 億9,232万円  | 財政調整基金・減債基金積立額 | △5,257万円     |
| 合計(①)          | 106 億2,048万円 | 合計(②)          | 101 億4,540万円 |
| 基礎的財政収支(①－②)   |              | 4 億7,508万円     |              |



# 各種指標による財政状況の分析

## 財政健全化判断比率の報告

### 平成23年度決算に基づく財政健全化判断比率及び資金不足比率について

平成19年6月22日に公布された地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）に基づく、精華町の財政健全化判断比率と資金不足比率についてお知らせします。

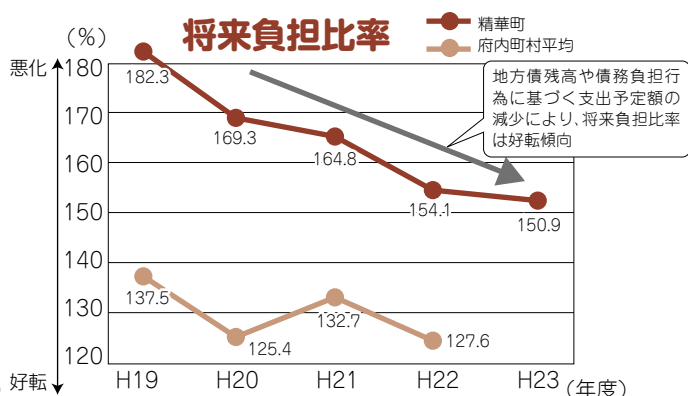
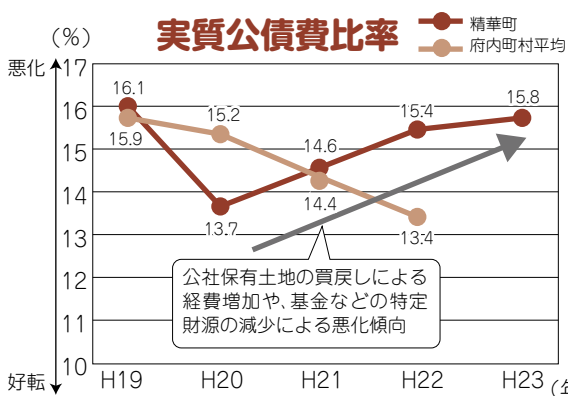
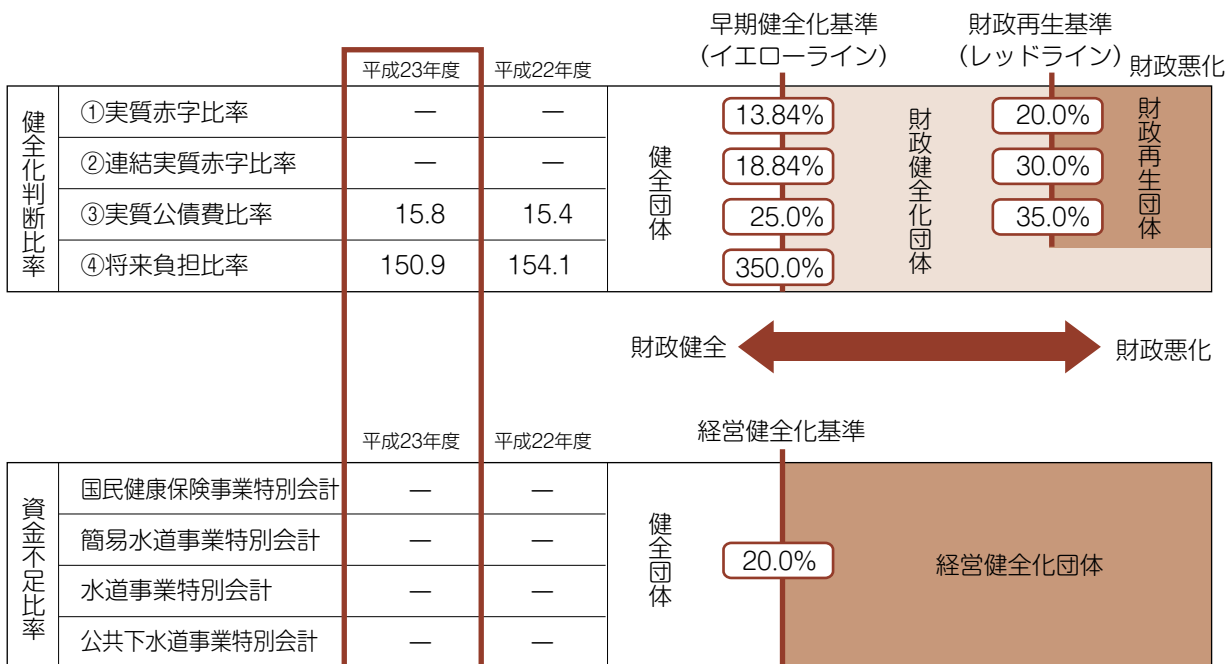
精華町の平成23年度決算に基づく、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の4つの指標と、⑤公営企業会計に係る資金不足比率は以下の通りです。すでに、町監査委員の審査に付し、その意見とあわせて、9月の町議会定例会でも報告しています。

健全化判断比率については、実質赤字比率と連結実質赤字比率は算定されませんでした。また、実質公債費比率と将来負担比率については、それぞれ早期健全化基準を下回っています。

実質公債費比率は、元利償還金に対する基金などの特定財源が減少したため、平成22年度と比較して、数値が0.4ポイント悪化しています。

将来負担比率は、平成22年度と比較して数値が改善しています。これは、公債費適正化対策の取り組みなどにより、地方債の借入残高と、債務負担行為に基づく今後の支出予定額の総額が減少したことが大きく影響しています。

資金不足比率については、いずれの会計も算定されませんでした。



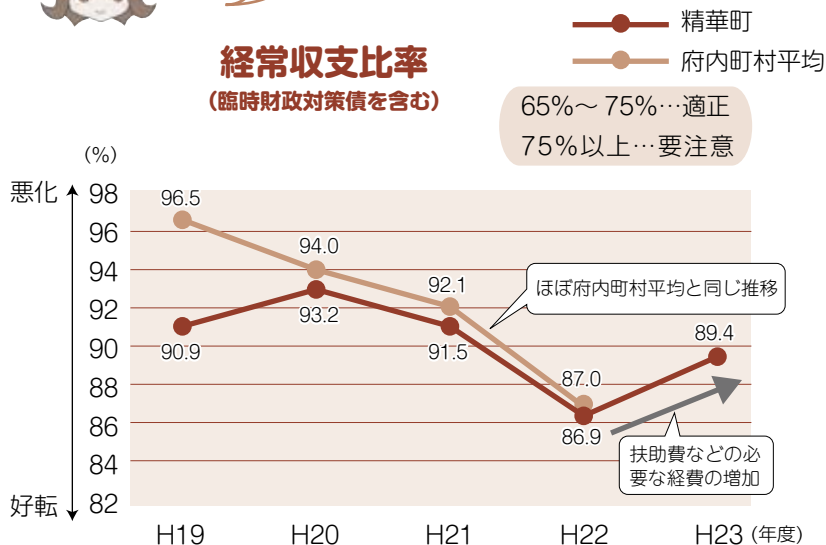




財政指標をグラフで見よう!!

## 経常収支比率

(臨時財政対策債を含む)



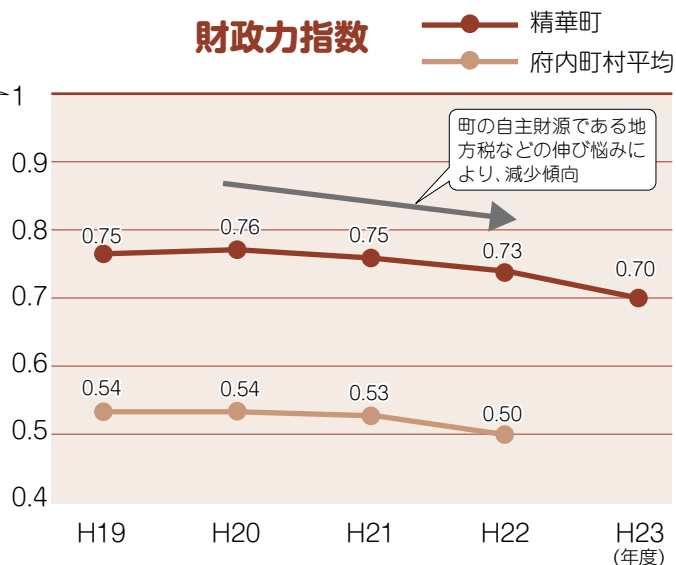
- 経常収支比率は、人件費や扶助費、公債費など毎年必ず必要とする経費に、町税や地方交付税などの毎年決まって入ってくる使い道の自由な収入を使った割合です。この比率が低いほど、財源を活用できる自由度が高まることになります。

- 精華町は府内町村平均よりは、財源を活用できる自由度がわずかながら高いことがわかります。これまで少しずつ好転してきていましたが、平成23年度は前年度に比べて2.5ポイント上昇し、やや悪化の傾向を示しています。

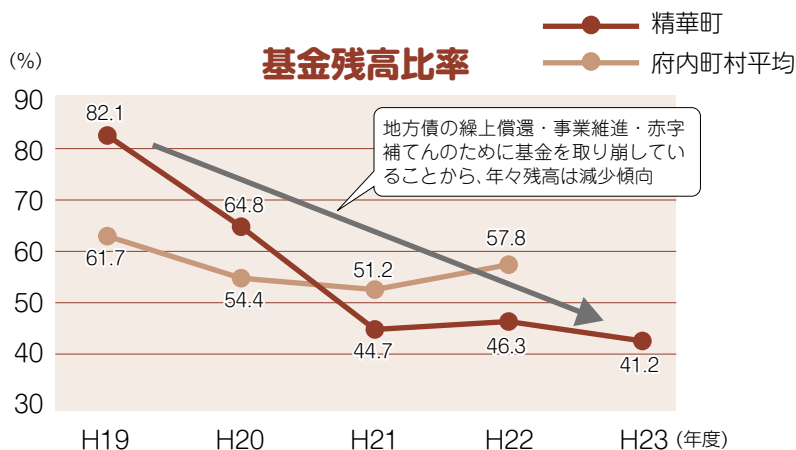
## 財政力指数

1を超えると普通地方交付税の交付を受けない不交付団体となる

- 財政力指数は、財源の余裕度を表しています。1に近く、または超えるほど余裕があります。
- 精華町は府内町村平均よりは財政力指数が高くなっていますが、近年は毎年減少傾向にあり、財源に余裕がなくなっていることがわかります。



## 基金残高比率



- 基金残高比率とは地方公共団体の年度末の貯金の割合です。比率が高いほど貯金の割合が高いといえます。
- 平成23年度においては、前年度に比べて5.1ポイント減少しており、これは、事業財源を基金の取り崩しに頼らざるを得なかったためです。

## 行政評価の取り組み



精華町では、行財政改革の一環として、限られた経営資源(ヒト・モノ・カネなど)をうまく組み合わせ、より効果的・効率的に行政経営を進めていくため、行政評価システムを導入しています。

ここでは、行政評価とはどのような取り組みか説明するとともに、精華町での取り組みについて紹介します。

### 1.行政評価とは

行政評価とは、行政の活動(仕事)の実績を振り返り、どのような課題が残り、どのような成果が生まれたか、ということ明らかにするとともに、その結果を次の取り組み(次年度の仕事)につなげていくことができる手法です。

1980年代に英国などで発展したNPM(※ニュー・パブリック・マネジメント)の考え方をもとに、国内では、1995年に三重県ではじめて行政評価システムが導入されました。現在、全国の多くの自治体で、それぞれの個性に応じた行政評価の仕組みが進められています。

※NPM(ニュー・パブリック・マネジメント)

民間の企業経営手法を行政分野に導入し、より効率的で質の高い行政サービスの提供を目指すという考え方です。「新公共経営」ともいわれます。

### 2.行政評価を取り組む意義

わが国では、右肩上がりの経済成長が終焉し、安定した税収が見込めなくなったことで、これまでどおりの前例踏襲的な行政運営の継続が厳しくなり、限られた経営資源を無駄なく活用していくことが重要になりました。

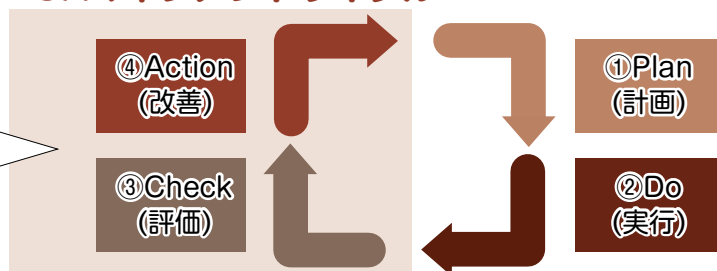
これまで、予算重視の運営、つまり、一つの行政活動にどれだけの予算を投入するかということに注目していましたが、これからは、成果も重視した運営、つまり、一つの行政活動にどれだけの予算を投入し、どれだけの成果を産み出すことができたか、あとどれくらいで目標を達成することができるかということまで注目し、また、その結果を次の行政活動につなげていくことを重視していく必要があります。

地方自治体の責務として、地方自治法に謳われる「最少の経費で最大の効果を挙げる」ことを実現するため、行政評価に基づく「PDCA(Plan(計画)-Do(実行)-Check(評価)-Action(改善))マネジメントサイクル」(※図参照)を行政経営に組み込み、うまく進めていかなければなりません。

#### ※PDCAマネジメントサイクル



この部分が  
行政評価の  
ポイント



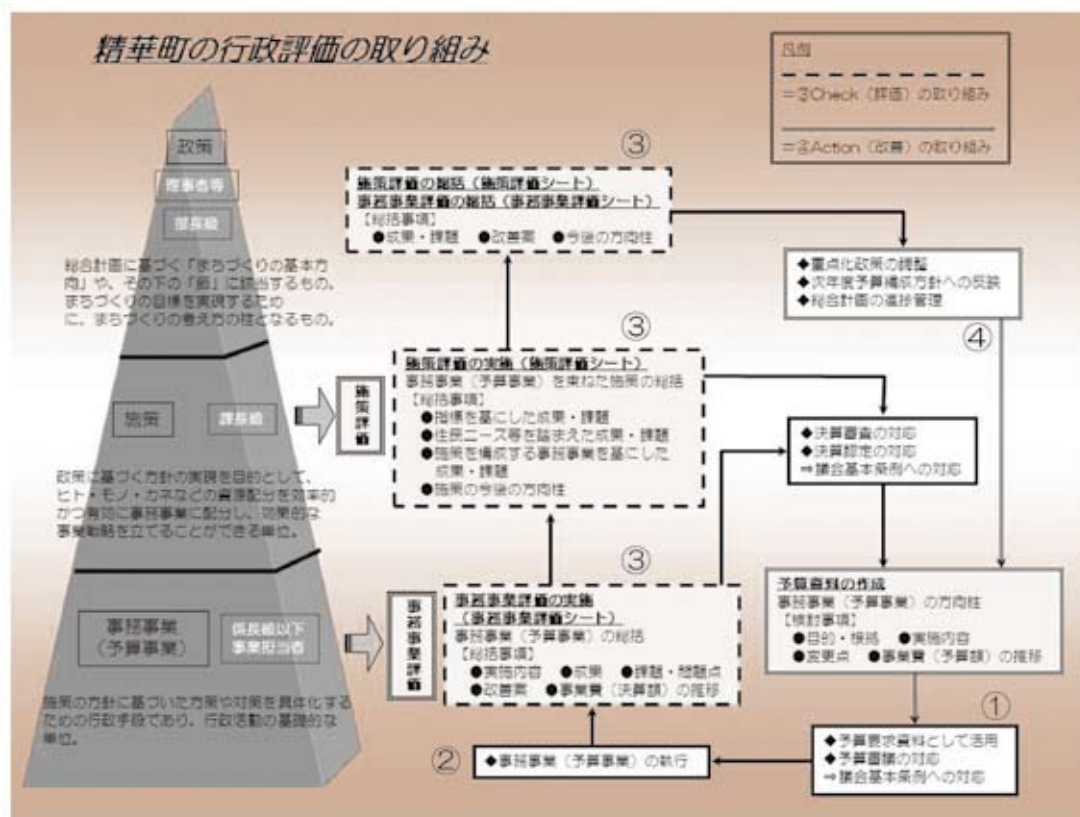
マネジメントサイクルを構成する4段階の頭文字をつなげたもので、①Plan(計画)⇒②Do(実行)⇒③Check(評価)⇒④Action(改善)の順に、1周したら、最後のAction(改善)を次のPDCAサイクルにつなげ、継続的に改善しながら行政活動を進めるという考え方です。

### 3.精華町の行政評価の取り組み

行政評価を導入する一般的な目的としては、「職員の意識改革」、「説明責任遂行の向上」、「改善・改革のツール(道具)としての活用」などが挙げられますが、精華町ではそれらに加え、「自立可能な行財政の確立」、「選択と集中の一層の強化」という目的も掲げています。

また、PDCAマネジメントサイクルに倣い、決算における事務事業(予算事業)や施策の成果の分析と総括した結果を、以降の「予算編成」へも活用できるよう制度設計しています。

事務事業ごとの総括には「事務事業評価」を、事務事業を束ねた施策の総括には「施策評価」を実施し、2段階の行政評価を進めています。



「事務事業評価」では、行政活動の基礎的な単位である個々の事務事業について、その取り組んだ内容と成果を分析し、明らかとなった課題・問題点、それに対する改善案を導き出しています。「施策評価」では、事務事業を束ねた単位である施策について、指標からみた成果と課題を分析するとともに、施策を構成する主な事務事業の成果や事務事業の構成の妥当性を検証したうえで、施策の今後の方向性を導き出しています。「施策評価」は、中長期で達成すべき施策目標について毎年度の進捗管理や、施策を構成する事務事業の優先順位付け、新たな事業の立案と既存事業の見直しを行う際に、より大局的な視点で施策の方向性を議論することが可能となります。

精華町の行政評価の取り組みは、まだまだ発展途上にあり、改善の余地は多分にあります。今後も、よりよい行政経営が実現できるよう、行政評価の取り組みを着実に実践し、住民のみなさまにもわかりやすく、施策や事務事業の成果と費用対効果等についてお知らせすることに努めてまいります。



# 平成23年度『決算のあらまし(まちの家計簿)』の発行にあたって

今年も、『決算のあらまし』（平成23年度版）を発行することとなりました。

この『決算のあらまし』の作成は、毎年4月に発行している『予算のあらまし』とあわせて、住民のみなさまに本町の財政事情を公表する取り組みの一環として、継続的に取り組んでいるものです。本町が抱える財政面での現状や課題などを、イラストやグラフなども活用して、できるだけわかりやすくお伝えしたいと工夫しながら、本誌の作成に取り組んでいます。

さて、去年は、東日本大震災や福島原発事故など、大きな災害を契機として、日本経済や地方自治を取り巻く環境がかつてない厳しさとなりました。また、急速なグローバル化のなかで広がる金融不安に、円高が追い討ちをかけ、国内の経済状況は現在も混迷を極めています。

精華町の財政状況は、本誌をご覧いただいてもお分かりいただけますように、決して良好な状況とはいえません。財政の健全性や弾力性を表す比率である「経常収支比率」は、89.4%と依然として財政の硬直化を示していますし、年々、保有する基金が減少していく一方で、地方債発行（借入金）の抑制や繰上償還など公債費適正化対策を施しても、なお実質債務残高が320億円を超えている状況です。

そのような状況のもとでも、本町では現状の行政サービス水準の確保と懸案課題の事業推進のために、行財政改革の継続に努め、選択と集中型へのより一層の強化に努めているところです。

本誌でもお伝えしている通り、地方公共団体は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの比率と公営企業会計にかかる資金不足比率を算定して、議会に報告し住民のみなさまに公表することとなっております。特に、将来負担比率については、今後長期にわたる多額の地方債残高や公団（現UR都市機構）立替施行による債務負担行為に基づく支出予定額を抱える本町にとって、財政健全化の視点からも大きな課題です。

また、国が進める地方公会計制度改革の動きに対応するため、新基準での財務諸表の研究と作成に取り組み、本紙にも6ページをさいて財務4表やその分析について掲載させていただきました。財務4表を作成し、経年比較や他団体比較による分析を行うことで、地方自治体の財政と運営状況を住民のみなさまによりわかりやすく開示できるよう、今後も取り組みを進めてまいります。

最後となりましたが、より質の高い行政サービスの実現をめざし、本町が目指します「人、自然、科学を結ぶ学研都市精華町」の実現に向けてまい進し、「ふるさと“ここ（精華町）”と誇れるまち」づくりを進めてまいりますので、引き続きみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

平成24年10月

精華町長 木村 要

## まちの家計簿

### 精華町の財政状況公表資料(決算編)



- 発行 … 平成24年10月 精華町役場 総務部 財政課
- 住所 … 〒619-0285（個別番号）  
京都府相楽郡精華町大字南稲八妻小字北尻70番地
- TEL … 0774-95-1914（財政課ダイヤルイン）
- FAX … 0774-93-2233
- ホームページ … <http://www.town.seika.kyoto.jp>
- E-mail … [zaisei@town.seika.kyoto.jp](mailto:zaisei@town.seika.kyoto.jp)
- 印刷 … 株式会社 昭文社

